

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

（1）県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康について
- ③福祉について
- ④観光について
- ⑤千葉県の農林水産物について
- ⑥防災に関する取り組みについて
- ⑦地方分権について
- ⑧広報・広聴活動について

（2）県政への要望

3. 調査の設計

- （1）調査地域 千葉県全域
- （2）調査対象 満18歳以上の男女個人
- （3）標本数 3,000人
- （4）抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- （5）調査方法 郵送法・オンライン調査法の併用
（郵送配付－郵送・オンライン回収）
- （6）調査時期 令和元年8月23日～令和元年9月13日

4. 調査機関 株式会社 エスピー研

5. 回収結果

標本数	(A)	3,000件
総回収数	(B)	1,462件
	有効回収数 (C)	1,461件
	うちネット回収数	121件
	無効回収数	1件
	うちネット回収数	0件
回収率	(B / A)	48.73%
有効回収率	(C / A)	48.70%

標本抽出方法

調査対象：千葉県内の市町村に居住する満18歳以上の男女個人

標本数：3,000人

地点数：市部 193地点

郡部 7地点

計 200地点

抽出法：層化二段無作為抽出法

[層化]

1. 県内を、次の11地域に分類した。

地域名	該当市郡名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、平成31年4月1日現在市制施行の地域をさす。



〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における満18歳以上の人口（平成30年4月1日現在の推定数）に対して、3,000の標本数を比例配分した。

〔抽出〕

- 平成27年国勢調査時に設定された調査区を、第1次抽出単位となる調査単位として使用した。
 - 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上に割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$
 を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。
 - 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成27年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。
 - 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。
- 以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,056,779	0	1,056,779
	600	0	600
	40	0	40
②葛南地域	1,400,851	0	1,400,851
	780	0	780
	52	0	52
③東葛飾地域	1,265,983	0	1,265,983
	705	0	705
	47	0	47
④印旛地域	578,246	36,631	614,877
	330	15	345
	22	1	23
⑤香取地域	67,995	31,030	99,025
	45	15	60
	3	1	4
⑥海匝地域	144,225	0	144,225
	75	0	75
	5	0	5
⑦山武地域	140,067	41,976	182,043
	75	30	105
	5	2	7
⑧長生地域	78,112	53,242	131,354
	45	30	75
	3	2	5
⑨夷隅地域	50,291	15,179	65,470
	30	15	45
	2	1	3
⑩安房地域	104,709	7,265	111,974
	60	0	60
	4	0	4
⑪君津地域	279,720	0	279,720
	150	0	150
	10	0	10
計	5,166,978	185,323	5,352,301
	2,895	105	3,000
	193	7	200

（注）上段は満18歳以上の人口（平成30年4月1日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区富士見1丁目	15	①千葉地域	市原市八幡石塚2丁目	15
	千葉市中央区青葉町	15		市原市ちはら台南4丁目	15
	千葉市中央区新町	15		市原市姉崎西1丁目	15
	千葉市中央区都町1丁目	15		市原市牛久	15
	千葉市中央区大森町	15	②葛南地域	市川市八幡1丁目	15
	千葉市中央区今井町	15		市川市東大和田1丁目	15
	千葉市中央区蘇我4丁目	15		市川市東菅野3丁目	15
	千葉市花見川区検見川町5丁目	15		市川市鬼高2丁目	15
	千葉市花見川区幕張町2丁目	15		市川市新田3丁目	15
	千葉市花見川区西小中台	15		市川市宮久保3丁目	15
	千葉市花見川区長作台2丁目	15		市川市高谷1丁目	15
	千葉市花見川区花島町	15		市川市市川南3丁目	15
	千葉市花見川区こてはし台6丁目	15		市川市柏井町2丁目	15
	千葉市稲毛区黒砂台2丁目	15		市川市大字二俣	15
	千葉市稲毛区小仲台3丁目	15		市川市国分6丁目	15
	千葉市稲毛区作草部町	15		市川市塩焼2丁目	15
	千葉市稲毛区宮野木町	15		市川市国府台4丁目	15
	千葉市稲毛区六方町	15		市川市末広2丁目	15
	千葉市若葉区西都賀3丁目	15		市川市湊	15
	千葉市若葉区貝塚2丁目	15		市川市香取1丁目	15
	千葉市若葉区みつわ台3丁目	15		市川市新井3丁目	15
	千葉市若葉区千城台東3丁目	15		船橋市本町2丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野4丁目	15		船橋市東船橋7丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野1丁目	15		船橋市浜町1丁目	15
	千葉市緑区誉田町3丁目	15		船橋市葛飾町2丁目	15
	千葉市緑区大木戸町	15		船橋市西船6丁目	15
	千葉市美浜区磯辺6丁目	15		船橋市海神1丁目	15
	千葉市美浜区浜田2丁目	15		船橋市夏見1丁目	15
	千葉市美浜区磯辺3丁目	15		船橋市前貝塚町	15
	千葉市美浜区高洲2丁目	15		船橋市藤原6丁目	15
	千葉市美浜区幸町1丁目	15		船橋市金杉台2丁目	15
	市原市神崎	15		船橋市八木が谷1丁目	15
	市原市山木	15	船橋市古和釜町	15	
	市原市光風台1丁目	15	船橋市南三咲3丁目	15	
市原市松ヶ島2丁目	15	船橋市芝山3丁目	15		
市原市君塚5丁目	15	船橋市習志野台3丁目	15		

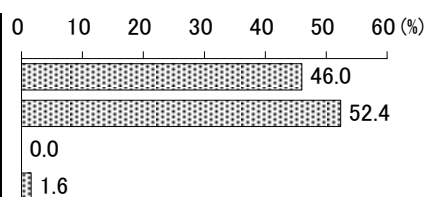
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
②葛南地域	船橋市西習志野1丁目	15	③東葛飾地域	野田市大字花井	15
	船橋市滝台町	15		野田市清水	15
	船橋市三山1丁目	15		野田市吉春	15
	船橋市前原東3丁目	15		野田市次木	15
	習志野市津田沼7丁目	15		柏市旭町4丁目	15
	習志野市秋津1丁目	15		柏市松ヶ崎	15
	習志野市谷津6丁目	15		柏市亀甲台町1丁目	15
	習志野市大久保2丁目	15		柏市旭町6丁目	15
	習志野市実籾1丁目	15		柏市高田	15
	八千代市萱田	15		柏市根戸	15
	八千代市吉橋	15		柏市逆井4丁目	15
	八千代市村上（村上団地を除く）	15		柏市青葉台2丁目	15
	八千代市勝田台北1丁目	15		柏市豊住3丁目	15
	八千代市八千代台北16丁目	15		柏市若柴	15
	八千代市八千代台北11丁目	15		柏市布施新町4丁目	15
	浦安市当代島2丁目	15		柏市大字塚崎	15
	浦安市北栄4丁目	15		流山市名都借	15
	浦安市富士見2丁目	15		流山市南流山4丁目	15
	浦安市美浜1丁目	15		流山市三輪野山1丁目	15
	浦安市日の出2丁目	15		流山市東初石3丁目	15
③東葛飾地域	松戸市小根本	15	流山市駒木台	15	
	松戸市松戸	15	我孫子市緑1丁目	15	
	松戸市大字南花島	15	我孫子市根戸	15	
	松戸市松戸新田	15	我孫子市柴崎台3丁目	15	
	松戸市二十世紀が丘丸山町	15	我孫子市湖北台7丁目	15	
	松戸市古ヶ崎3丁目	15	我孫子市新木野4丁目	15	
	松戸市中和倉	15	鎌ヶ谷市道野辺中央4丁目	15	
	松戸市常盤平2丁目	15	鎌ヶ谷市東初富4丁目	15	
	松戸市日暮6丁目	15	鎌ヶ谷市くぬぎ山1丁目	15	
	松戸市西馬橋4丁目	15	④印旛地域	成田市中台6丁目	15
	松戸市新松戸5丁目	15		成田市橋賀台2丁目	15
	松戸市二ツ木	15		成田市小菅	15
	松戸市小金原4丁目	15		成田市長沼	15
	松戸市小金原9丁目	15		佐倉市大字鑄木町	15
	松戸市五香六実	15		佐倉市六崎	15
	松戸市大金平3丁目	15		佐倉市臼井田	15
	松戸市小金原1丁目	15		佐倉市南臼井台	15
	野田市山崎新町	15		佐倉市上志津	15

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	佐倉市西志津2丁目	15	⑦ 山武地域	大網白里市大網	15
	四街道市美しが丘2丁目	15		大網白里市富田	15
	四街道市亀崎	15		山武郡芝山町小池	15
	四街道市めいわ3丁目	15		山武郡横芝光町鳥喰新田	15
	八街市沖渡	15	⑧ 長生地域	茂原市八千代2丁目	15
	八街市希望ヶ丘	15		茂原市東茂原	15
	印西市東の原2丁目	15		茂原市東郷	15
	印西市中央南2丁目	15		長生郡睦沢町岩井	15
	印西市瀬戸	15	⑨ 夷隅地域	長生郡長柄町山根	15
	白井市根	15		勝浦市墨名	15
	白井市清水口2丁目	15		いすみ市山田	15
	富里市新橋	15		夷隅郡御宿町新町	15
	富里市中沢	15	⑩ 安房地域	館山市北条	15
	印旛郡栄町北辺田	15		館山市上真倉	15
⑤ 香取地域	香取市磯山	15		鴨川市広場	15
	香取市八日市場	15		南房総市谷向	15
	香取市岩部	15	⑪ 君津地域	木更津市清見台東1丁目	15
	香取郡東庄町高部	15		木更津市請西4丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市清水町	15		木更津市港南台1丁目	15
	銚子市三崎町1丁目	15		木更津市金田東4丁目	15
	旭市ハ	15		君津市壱師2丁目	15
	旭市見広	15		君津市大字内蓑輪	15
	匝瑳市椿	15		君津市広岡	15
⑦ 山武地域	東金市大字田間	15	富津市大堀2丁目	15	
	東金市家徳	15	袖ヶ浦市神納1丁目	15	
	山武市本須賀	15	袖ヶ浦市大曾根	15	

回答者の属性

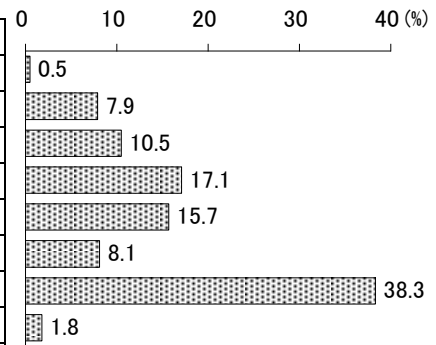
1. 性

	基数	構成比
1 男性	672	46.0
2 女性	766	52.4
3 その他	0	0.0
(無回答)	23	1.6
全体	1,461	100.0



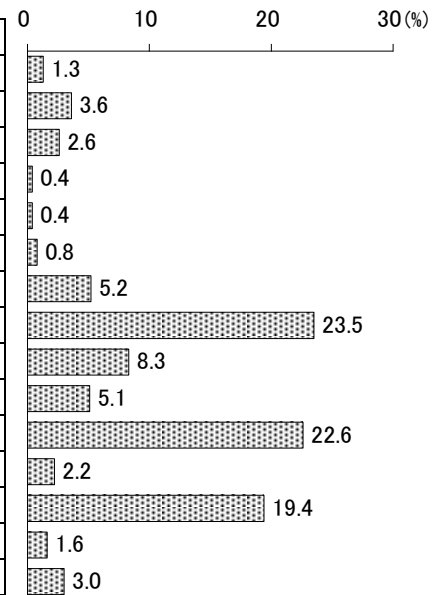
2. 年 代

	基数	構成比
1 18～19歳	8	0.5
2 20代	115	7.9
3 30代	153	10.5
4 40代	250	17.1
5 50代	230	15.7
6 60～64歳	118	8.1
7 65歳以上	560	38.3
(無回答)	27	1.8
全 体	1,461	100.0



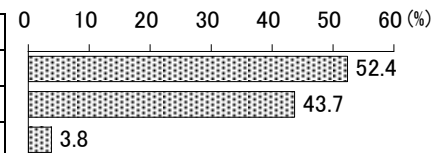
3. 本人職業

	基数	構成比	
自営業	1 農林漁業	19	1.3
	2 商工サービス業	52	3.6
	3 自由業	38	2.6
従業者 家族	4 農林漁業	6	0.4
	5 商工サービス業	6	0.4
	6 自由業	12	0.8
勤め人	7 管理職	76	5.2
	8 専門技術・事務職	343	23.5
	9 販売・サービス職	121	8.3
	10 労務職	74	5.1
無職	11 主婦・主夫	330	22.6
	12 学生	32	2.2
	13 無職	284	19.4
	14 その他	24	1.6
(無回答)	44	3.0	
全 体	1,461	100.0	



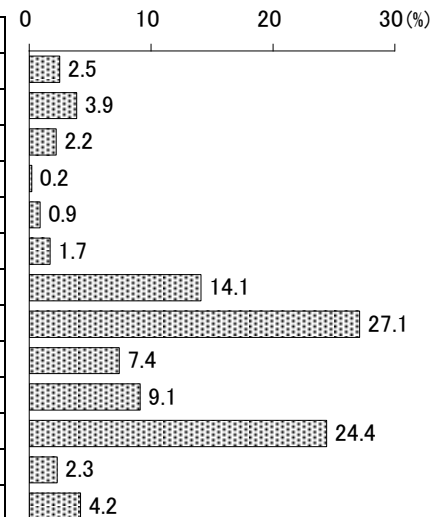
4. 世帯内の地位

	基数	構成比
1 主として家計を支えている	766	52.4
2 家計を支えていない	639	43.7
(無回答)	56	3.8
全 体	1,461	100.0



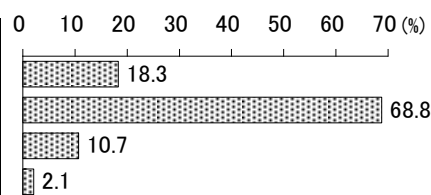
5. 世帯主職業

	基数	構成比	
自営業	1 農林漁業	16	2.5
	2 商工サービス業	25	3.9
	3 自由業	14	2.2
従業者 家族	4 農林漁業	1	0.2
	5 商工サービス業	6	0.9
	6 自由業	11	1.7
勤め人	7 管理職	90	14.1
	8 専門技術職・事務職	173	27.1
	9 販売・サービス職	47	7.4
	10 労務職	58	9.1
11 無職	156	24.4	
12 その他	15	2.3	
(無回答)	27	4.2	
全 体	639	100.0	



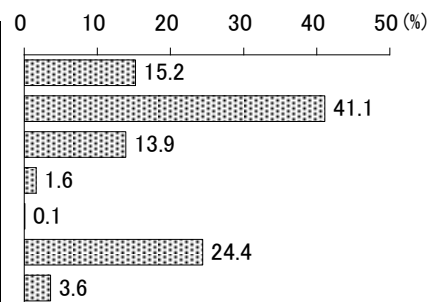
6. 未既婚

	基数	構成比
1 未婚	268	18.3
2 既婚（配偶者有）	1,005	68.8
3 既婚（配偶者離死別）	157	10.7
（無回答）	31	2.1
全 体	1,461	100.0



7. 子どもの人数

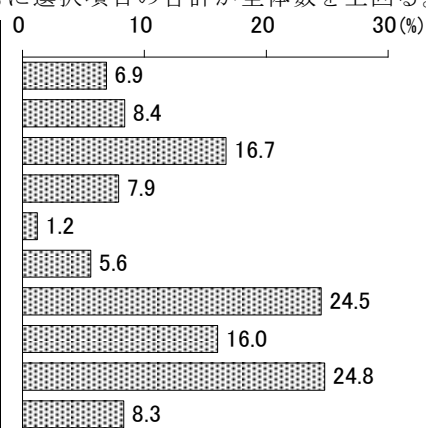
	基数	構成比
1 1人	222	15.2
2 2人	601	41.1
3 3人	203	13.9
4 4人	24	1.6
5 5人以上	2	0.1
6 子どもはいない	357	24.4
（無回答）	52	3.6
全 体	1,461	100.0



8. 子どもの成長段階

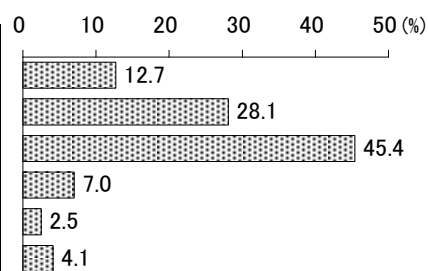
※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。

	基数	構成比
1 0～2歳の子ども	73	6.9
2 3歳以上の未就学の子ども	88	8.4
3 小学校・中学校在学中の子ども	176	16.7
4 高校在学中の子ども	83	7.9
5 短大・高専・各種学校・専修学校に在学中の子ども	13	1.2
6 大学・大学院在学中の子ども	59	5.6
7 学校を終えた未婚の子ども	258	24.5
8 結婚した子ども	168	16.0
9 同居している子どもはいない	261	24.8
（無回答）	87	8.3
全体（上記「7.子どもの人数」の1から5の計）	1,052	-



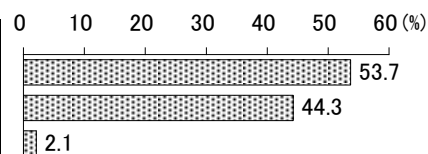
9. 家族構成

	基数	構成比
1 単身	186	12.7
2 夫婦のみ	411	28.1
3 二世帯世帯（親と子）	664	45.4
4 三世帯世帯（親と子と孫）	103	7.0
5 その他	37	2.5
（無回答）	60	4.1
全 体	1,461	100.0



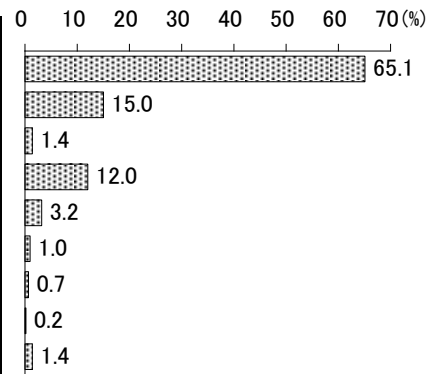
10. 高齢者の同居の有無

	基数	構成比
1 いる（対象者本人を含む）	784	53.7
2 いない	647	44.3
（無回答）	30	2.1
全 体	1,461	100.0



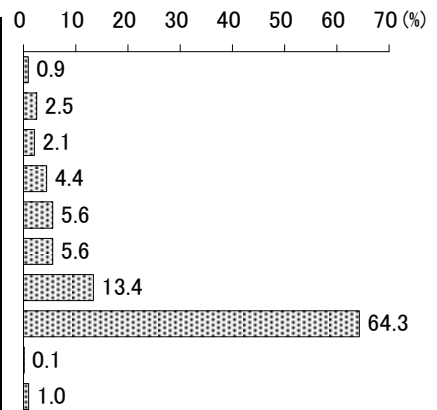
11. 住 宅

		基数	構成比
持家	1 持家（一戸建）	951	65.1
	2 分譲マンション	219	15.0
持家以外	3 民間の借家（一戸建）	20	1.4
	4 賃貸のアパート・マンション	175	12.0
	5 公社・UR都市機構・縣市町村営住宅	47	3.2
	6 社宅などの給与住宅	15	1.0
	7 住み込み・寮・寄宿舍	10	0.7
	8 その他	3	0.2
（無回答）		21	1.4
全 体		1,461	100.0



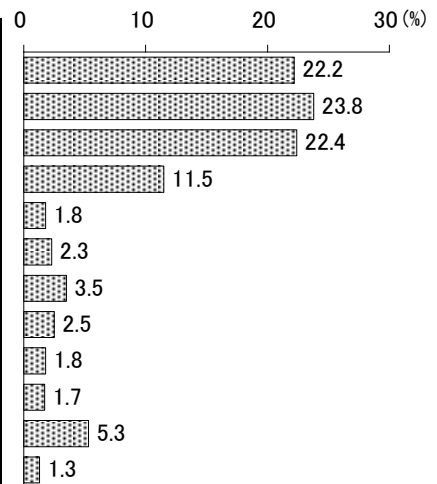
12. 県内居住年数

		基数	構成比
1	1年未満	13	0.9
2	1年～3年未満	36	2.5
3	3年～5年未満	30	2.1
4	5年～10年未満	65	4.4
5	10年～15年未満	82	5.6
6	15年～20年未満	82	5.6
7	20年～30年未満	196	13.4
8	30年以上	940	64.3
9	わからない	2	0.1
（無回答）		15	1.0
全 体		1,461	100.0



13. 地 域

		基数	構成比
1	千葉地域	325	22.2
2	葛南地域	347	23.8
3	東葛飾地域	327	22.4
4	印旛地域	168	11.5
5	香取地域	26	1.8
6	海匝地域	33	2.3
7	山武地域	51	3.5
8	長生地域	37	2.5
9	夷隅地域	26	1.8
10	安房地域	25	1.7
11	君津地域	77	5.3
（無回答）		19	1.3
全 体		1,461	100.0



（報告書の見方）

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- （1）比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- （2）基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- （3）1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- （4）選択肢を合わせた表記の回答割合は、選択肢の回答者人数を合わせた値を、全回答者で割った値を採用しているため、選択肢の回答割合を単純に足した値と異なることがある。
- （5）分かりやすく実態に合わせた設問にするため、前回調査の設問から表現等を変更したものがある。
- （6）地域別、性・年齢別の分析において、サンプル数の少ない属性の分析については、グラフ上で数値が高いものでも有意差がなく、分析で触れていない場合がある。
- （7）男性の18～19歳であるサンプル数は1人と少ないため、性・年齢別の帯グラフでは、男性の18～19歳を示す部分に限り、0%である選択肢の回答割合を表示していない。
- （8）この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率（P） 基数（n）		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
		総数	1,461人	± 2.22%	± 2.96%	± 3.39%
千葉地域	325	± 4.71%	± 6.28%	± 7.19%	± 7.69%	± 7.84%
葛南地域	347	± 4.56%	± 6.07%	± 6.96%	± 7.44%	± 7.59%
東葛飾地域	327	± 4.69%	± 6.26%	± 7.17%	± 7.66%	± 7.82%
印旛地域	168	± 6.55%	± 8.73%	± 10.00%	± 10.69%	± 10.91%
香取地域	26	± 16.64%	± 22.19%	± 25.42%	± 27.17%	± 27.74%
海匝地域	33	± 14.77%	± 19.69%	± 22.56%	± 24.12%	± 24.62%
山武地域	51	± 11.88%	± 15.84%	± 18.15%	± 19.40%	± 19.80%
長生地域	37	± 13.95%	± 18.60%	± 21.31%	± 22.78%	± 23.25%
夷隅地域	26	± 16.64%	± 22.19%	± 25.42%	± 27.17%	± 27.74%
安房地域	25	± 16.97%	± 22.63%	± 25.92%	± 27.71%	± 28.28%
君津地域	77	± 9.67%	± 12.89%	± 14.77%	± 15.79%	± 16.12%
男性	672	± 3.27%	± 4.36%	± 5.00%	± 5.35%	± 5.46%
女性	766	± 3.07%	± 4.09%	± 4.68%	± 5.01%	± 5.11%